

第6回 小諸市長期学校改築計画検討会 公開用会議録

日 時：平成29年6月29日（木）19:00～20:50

場 所：小諸市役所3階 第1会議室

【出席者】

委員 13名（欠席者 尾芦委員、福田委員、大池委員、富岡委員）  
事務局 5名

【日 程】（進行3、4は座長 他は教育次長）

1. 開 会
2. あいさつ 渡辺座長、小林教育長
3. 前回の振り返り 金井学校教育課長
4. 小中一貫教育について
  - (1) 佐久穂町立佐久穂小中学校の状況について  
講師：佐久穂中学校 教頭 土屋 剛 先生
  - (2) 信濃町立信濃小中学校への質問について 金井学校教育課長
5. その他  
視察研修 日 時：平成29年7月12日（水） 8:00～12:45  
視察先：信濃町立信濃小中学校  
第7回 日 時：平成29年7月24日（月）19:00～  
第8回 日 時：平成29年8月24日（木）19:00～  
中間報告会 日 時：平成29年9月29日（木）19:00～  
会 場：ステラホール
6. 閉 会

【会議録】

4. 小中一貫教育について

土屋教頭先生より資料に沿って説明

質疑応答

委員：合同職員会の職員数は何人か。

講師：小中合わせて80人ほど。

委員：PTA組織は小中合同か、別々か。

講師：PTAは小中別々。年に何回か小中一緒に行くあいさつ運動の際は一緒だが、活動自体は別々。

委員：中学の徒歩通学の割合は。

講師：261名のうち、徒歩通が約150名。他は、スクールバス、自転車通、JR小

海線を利用している。

委員：合同職員会議は、どのような場合に行うのか。

講師：準備職員会議のほか、合同避難訓練や合同不審者対策訓練、音楽会、運動会、文化祭等の際に行い、中学生の入り方や準備段階での協力体制など検討する。

委員：人間関係が継続することが原因となり中学で不登校になるような課題はないのか。

講師：そのようなことも考えられるが、現在のところ友達関係で崩れてしまうとか悩んでいるという事例はない。

委員：佐久穂町の児童生徒数などの見通しは。

講師：中学校の特別支援学級が今年度は2クラスに増えた。小学校の特別支援学級も1クラス増え、教室が足りなくなったため、スペースを工夫している。今後、暫くは1学年3クラスだが、将来的な出生率はかなり低いようだ。

委員：保健室・図書館・放送室は小中別々が良いとの意見は、職員からでているのか。

講師：職員から出ている。

委員：施設面も課題があるのか。

講師：保健室の教員が一人なので個別の児童生徒に馴染みがあり、小から中へ継続した対応ができることは良いが、中学生の保健室と小学生の保健室ではそれぞれ雰囲気や役割が違う。放送室も同様であり、中学生の使用状況をお手本として小学生が使うことができるのはとても良いが、小学生が使用后、中学生が使用するため給食を食べる時間も遅くなってしまう。

委員：小・中両方の免許を所持した教員が配属されているのか。

講師：両免許所持者は、中学校の教員でも半数程度。

委員：通学時のバス、電車の料金はどのようになっているのか。

講師：バス通学は町営バスのため無料。電車通学は保護者の判断と責任で行っているため当事者負担で公的な支援なし。定期券の学割は適用されていると思う。

委員：小学校から中学校に上がった子どもについて、指導性や人間関係の固定などの様子はどうか。

講師：教育課程は別のため、6年生はリーダーとして生徒会の中心になっている。他の学校と比べても課題とは感じない。馴染のある場所で勉強できる安心感があると思う。

事務局：施設の共用で課題はないか。教員間で良い面はあるのか。

講師：休み時間の過ごし方も、小学生と中学生では違うため校庭使用で課題はない。

体育館は別々なので問題はない。音楽会などを考えると小学校の体育館のほうが広ければ良かったと思う。

小中合わせると教員全体の人数が多いため、それぞれ得意分野を持つ教員がいる。良い面としては、そういった教員から専門的な話を伝えることができる。

事務局：スクールバスの運行状況について。

講師：バスは全部で7台あり、朝はまず中学校の生徒の迎えに5台が運行、帰着後6台体制で小学校の児童を迎えに対応している。

委員：佐久穂小中学校は一つの学校か、二つの学校か。

講師：二つの学校。

委員：全国学力学習状況調査の結果共有がされているが、学力向上の観点から、子どもの意識づけなどで小中同一敷地の効果はあるのか。

人間関係で良くない話が継続することのだが、小中同一敷地になったための課題なのか。

講師：学力向上面では、乗り入れの授業等を通し、本校ならではの取り組みにより、効果を図っている。また、中学生が小学生の手本になり勉強などをがんばろうという意識をさらに上げていきたいと思っている。

人間関係の継続などの課題は、同一敷地とはあまり関係ない。